



慈光

第105号

令和3年3月



編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会
特別養護老人ホーム慈光園
慈光園デイサービスセンター
慈光園中央デイサービスセンター
在宅介護支援センター慈光園
ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典
山形県長井市小出3453番地
TEL 0238(88)2711
FAX 0238(88)2712
ホームページアドレス
<http://nagai-jikouen.jp/>
印刷 (株)サンノー企画印刷



「令和2年度から令和3年度へ」

社会福祉法人長井福祉会慈光園

園長 皆川善典

中国武漢から端を発したといわれる新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、県内外の高齢者福祉施設においてクラスターが散見されました。要介護者を抱える事業所においては、見えない敵と如何に戦うか、日々戦々恐々と従事してまいります。こうしたコロナ禍にあり、新しい生活様式の実践例が示される中、仕事の在り方においては会議や研修等への参加は、感染防止の観点からオンラインによる開催方式へ急速に変転してきました。新生活様式への戸惑いを感じつつも、この変化に対応すべく、容易に使用可能なプロジェクト等の備品購入や、支払いや請求業務が滞り事業継続に支障をきたさぬようテレワーク対応諸準備等を行ってきました。また、感染予防を図るうえでご家族の面会制限の実施によりご利用者、ご家族には寂しい思いをお掛けしておりますが、オンラインで顔や生活の様子がある程度感じられるような対応を取らせていただいております。オンライン通信は私たちの様々な欲求を満たすことのできる道具として欠かせない物となりました。

そんな中今年2月、慈光園に於いて山形県から介護ロボット導入支援事業補助金を活用し、『インカム』を45台導入しました。このインカムは個々の職員がイヤホンとマイクを装着することで、情報の共有が図られ、ご利用者への素早い対応や無駄な動きの軽減等で業務効率を高めることが期待されます。導入後、想像以上に職員から高評価を得ることができ、不慣れを克服する等の課題は多少ありますが今後益々効果的の活用を期待しているところです。また、将来的には先進技術を活用した介護により、人と物を効率よく快適に結びつける方式を積極的に導入していきたいと考えております。

さて、昨年の有効求人倍率はコロナ禍にあり45年ぶりの大幅な低下と聞きました。一方、介護分野に於いては1人の求職者

に4社が求人しており依然高止まりが続いています。長井管内の高校卒業による県内就職希望者が67人とのことで、そこから介護職希望者がどの程度存在するのか皆目見当が付きません。こうした背景もあり、当法人に於いては次年度新規学卒者の獲得が叶わず、求人した過去10年では初めてのことで、介護の仕事は将来も必要とされることは明白な事実であり、介護事業の継続が地域住民へ不安を抱かせることは極力避けなければなりません。そのために、IT/O(物のインターネット)等先進技術の導入に加え、安定的に優秀な人材を如何に確保するかが非常に重要な力点となります。

当法人では、令和元年にフィリピンとの経済連携協定に基づく介護福祉士候補者2名を受入れ、現在は素晴らしい戦力に育っています。しかしながら、この制度を活用して受入れたい施設は数多く存在し競争が激化しています。そこで、日本の労働力不足解消を目的とした『特定技能実習生』制度を活用し令和3年度からミャンマーより4名を受け入れる予定です。現在クーデータに反発したデモ隊との衝突で事態の混迷を深めていますが、仲介者からは順次入国できる見込みであるとの一報受け安堵しているところです。ミャンマーは仏教国で礼儀や勤勉さは日本人気質と似ていると言われています。また、言語も日本語の文法とも近く短時間で日本語を習得できるのではと期待されています。

先駆的に外国人介護人材を受入れる慈光園の使命は、異国異文化の環境下で不安を抱きながら働く外国人に対して、山形に来てよかつた。長井で働けて良かったと思えるよう、そして慈光園のみならずこの山形へ継続的に働きに来てくれるようにしていかなばと心している次第です。

クリスマス会

一人一人にサンタからプレゼントをお渡ししました。



ご利用者の皆さんの笑顔が沢山見られました。





いいことがありますように



本年もより一層のご支援を賜りますよう
役職員一同心よりお願い申し上げます。



おれと似ったべが??



節分年祝い



長井市より

長寿、百寿、白寿
卒寿、米寿の総勢
38名の方々へ
御祝品等を
頂戴しました。

鬼は外!
福は内!

お祝い膳
どれも美味し
そうです!

これからも健康で長生きして下さい。



● 慈光園リハビリ教室・フォローアップ教室のご紹介 ●



慈光園中央デイサービスセンターにて毎週土曜日、リハビリ教室とフォローアップ教室を開催しています。リハビリ教室は「体力作り」「ケガの予防」「筋力アップ」などを目的に、作業療法士等専門のスタッフが参加者の体調を確認したあとストレッチや全身運動等を行っています。フォローアップ教室はリハビリ教室を修了された方が運動を継続して実施する為の教室になります。参加されている方からは、「体が軽くなった!」「体力がついた気がする」などのお声も聞かれています。

日常生活をより良く送るためにも、適度に体を動かしていつまでも健康な体作りを目指します。



送迎 帰りもご自宅まで送迎いたします。

終了



プログラムに沿った運動の実施

健康チェック 到着された方から検温・血圧測定健康観察を行います。

送迎 自宅までお迎えにまいります。

リハビリ教室・フォローアップ教室の流れ

EPA介護福祉士候補生
一年間を振り返って

令和元年12月から私達と一緒に介護の仕事をしているマギさん・セリンさんも早いもので1年が経過しました。暖かいフイリピンからまだ雪が舞う山形に來られて最初はさまたまな面で戸惑うこともあったようです。現在は上手に日本語でご利用者へ声掛けされており、介護技術を早く覚えようと熱心に学ぶ姿に私達も刺激を受けています。今回、お二人に一年を振り返ってみての感想をお聞きました。



-日本の文化研修-
山寺に行きました。

Q 慈光園にきて一年が経ちますが、大変だったことは？

マギ：仕事は大丈夫ですが天気が悪い日、自転車で通勤するのが大変です。
セリン：今のところは何もあります。

Q 利用者さんに言われてうれしかったことはありますか？

マギ：ご利用者さんに名前でもらえた時です。
セリン：ご利用者さんに頼られた時や「いつ仕事に戻る？」と聞かれた時はうれしいです。

Q 山形でこれから行ってみたいところは？

マギ：考え中ですが、おすすめがあったら聞きたいです。
セリン：蔵王温泉スキーリゾートに行ってみたいです。



マギさん

Q これからの目標はなんですか？

マギ：日本語の勉強を頑張ることと、仕事を元気で続けられるように健康でいる事。
セリン：日本語の学力向上！



セリンさん



▲初のウィンタースポーツ！

編集後記

今年度は、新型コロナウイルス感染症のニュースばかりで明るい話題が少ない一年でした。このような中でも当施設においては、感染防止対策をしっかりとした上でさまざまな行事に取り組んで参りました。季節の変わり目を目で耳で舌で感じていただき「いがあったなあ」と言っていただけのことになによりうれしく思います。

来年度もご利用者が「笑顔」のある毎日を送ることが出来ますように、今後も職員一同質の高い介護を目指していきたいと思えます。引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広報委員

- ◎青木千賀子 ○八木 珠美
- 梅津 智之 橋本 恵
- 梅津 千秋 佐藤 拓
- 土屋 陸美 佐藤 亨
- 梅津 愛美 佐藤 幸子
- 山口 綾香

